

令和7年度 学校運営の概要

教育の目的

未来を切り拓き、人として豊かに生きていく力を育む

生き抜くための知恵と体、豊かな人間性を備えた人づくり

進路選択の支援

学校は「学びの場」であり、その「学び」は将来役立つものでなければならない！

校訓：「自主 協同」 教育目標：澆刺・純情・夢ありの精神を持つ生徒づくり

～「基礎学力」「基礎体力」「基礎モラル力（非認知能力）」の定着を目指して～

経営方針：『教学一如』の精神で「個」の夢を叶え、「集団」を輝かせる教育の推進

～ねらいを明確に本質に迫る教育姿勢で・目の前の子どもの姿が全てを物語る『生徒は教師の鑑』～

「基礎学力」「基礎体力」の定着

☆「基礎基本の定着」と「対話的で深い学び」への挑戦

- ・「教科嫌い」をつくらない教科指導
- ・「公開授業」と「相互授業参観」推進の奨励

☆教育環境の整備

- ・「学びの場」に応じた環境整備
- ・効果的な ICT 機器の利活用
- ・「家庭教育」との連携と支援体制の整備

☆効率的、効果的な体育活動と部活動運営

- ・強いチームだけでなく、部活外でも活躍する人づくり
- ・心身の健全な発達と技術習得、社会性を醸成する活動

「基礎モラル力」の育成

☆「道徳教育、人権教育」の推進

- ・道徳授業力向上と「日々道徳」による道徳的価値の醸成

☆「特別活動」との連携

- ・「道徳実践の場」「リーダー育成の場」として位置づけ
- ・「非認知能力」の育成と「学級経営」の充実

☆「特別支援教育」の充実

- ・「インクルーシブ教育」「ユニバーサルデザイン」を意識
- ・「多様性」「発達障害」への理解促進

「教職員の資質」向上

★ 校内研修・OJT体制の整備

- ・「教育のプロ」としての「専門性」
- ・「生徒支援」のタイミングやポイントを見極める「感性」
- ・「非認知能力」育成に焦点を当てた教育体制の整備

★ 「コンプライアンス意識」の確立と働き方・働きがい改革

- ・「諸事徹底」を「合い言葉」に、誰からも信頼される教師に

★ 安全、安心な学校づくり

- ・「危機管理能力」と「危機対応能力」を兼ね備えた教師に
- ・人権感覚に基づく学校（学級）経営

★ 人材育成の観点に立った組織づくり

- ・「任せて、支える」育成姿勢で、温かな職場風土を醸成

「学びの意義」の確立

☆☆☆「キャリア教育」の推進……将来に「見通し」と「希望」を持たせ社会的自立を促す指導
☆☆「小中連携」の推進……系統性ある指導の実現
☆「北中3C」の推進……「挑戦」「協働」「創造」活動の充実・教科学習からの展開

「伝統文化の継承」と「地域愛」の育成

☆☆「母校愛」の共有……生徒を誇れる先生、学校を誇れる地域・保護者
☆☆日本・地域文化の継承……アイデンティティの確立とふるさと意識の醸成
☆保護者、地域との連携……学校運営協議会の活用と「地域とともにある学校」づくり